

2025年度第1回 四国支部視察研修会 実施報告書

2025年度四国支部調査研究事業の一環として、「ケーブル技術ショー2025 他視察研修会」を実施した。

1. 視 察 先 : ①ケーブル技術ショー2025(場所:東京国際フォーラム)
②首都圏外郭放水路・地底探検龍Q館(場所:埼玉県春日部市)
2. 研修期間 : 2025年7月24日～25日(2日間)
3. 参 加 者 : 8名(6社)+3名(事務局)

① 7/24(木) 13:10～16:00 ケーブル技術ショー2025 視察

今年のケーブル技術ショーは、“『POTENTIAL!』～ケーブルテレビがもたらす地域課題解決への力～”をテーマに、一昨年度の92者、昨年度の94者を上回る97の事業者・団体による技術展示会や各種セミナーが開催された。

技術展示会は、「トータルソリューションZONE」「テクノロジーZONE」「地域DXZONE」の3つの主要ZONEで構成され、全国各地の自治体で進められているデジタルトランスフォーメーション(DX)による地域防災、地方創生活動の事例、それを支えるケーブルテレビサービスのバックボーンであるIoT技術を活用した各種防災センサー、LPWA、ローカル5G、AI予測による防災・減災、危機管理対策(BCP)ソリューションの紹介、また、観光MaaS、地域交流MaaSによる地域の活性化ソリューションの紹介があり、地域課題解決に繋がる様々な取り組みを学ぶことができた。

また、主要ゾーンに加え、分野や業種の垣根を越えて新たにケーブルテレビサービスへのビジネス展開をはかる事業者が出展する「トライアルZONE」では、ケーブルテレビによる地域課題の解決の実現に向けた最新技術、ソリューション、サービス等の展示があり、「主催者テーマ展示コーナー」では、ケーブルテレビ事業者が自治体関係者と連携し、各地で実施している地域課題解決に向けた様々なサービス事例の紹介や、次世代技術への取り組みなどがご紹介されていた。

各社ブース係員の丁寧な説明により、各社の特徴やアピールポイントを知ることができ、情報・知識を深める良い機会となった。

またリアル展示会後から9月10日まで、技術展示会で開催された技術セミナーや開催期間中に配信された会場内オープンステージがアーカイブ配信されており、時間の制約で参加できなかったセミナーをじっくりと見ることができた。

＜参加者の感想、印象に残ったこと＞

- ・実務で使用しているCADの新規仕様を見たが、現在使用しているCADより細かく分類出来るようになっており、もし導入されれば管理、維持にかかる手間が大幅に改善できると感じ、これだけでも今回ケーブルショーを視察した価値があった。
- ・普段使用しているCAD図の最新機能や、ONU他通信機器まで幅広く出展されており、非常に勉強になった。
- ・普段、電柱申請業務にあたることが多いので、無電柱化・ケーブルの地中化などの出展が特に印象に残った。
- ・昨年とあまり変化がなかった。

- ・住んでいる地域でも徐々に地中化が進んでいる最中だが、海外の先進国では無電柱化が80%～100%進んでおり、日本は10%以下であることに衝撃を受けた。
- ・非常に勉強になったので、機会があれば今後も参加したい。
- ・シンクレイアブースで、VHF帯増幅器の製造が検討されていることに期待が持てた。
- ・関電工ブースでは、ワンボックスカーによる災害時の移動通信拠点構想の紹介があり、災害時のみならず臨時の通信拠点としても利用価値があると感じたので、是非実用化して欲しいと思った。
- ・ハートネットワークブースでは、避難所のチェックインシステムやバスロケーションシステム等、正に地域密着型サービスの提供に力を入れていることを知り、ケーブルテレビ事業者の存在意義を感じた。
- ・特に印象に残る展示が無かったように感じる。
- ・自身の担当する業務では見られないものもあり、とても新鮮だった。
- ・測定器1つでも各社ごとに重きを置いているところが違うなど、製品1つ1つに対する企業努力を感じ取れた。実際の業務でも活用できそうな製品もあり、大変勉強になった。
- ・AIカメラを使用したネットワーク環境構築等、各メーカーで防犯意識の高い商材が多かった。



参加者



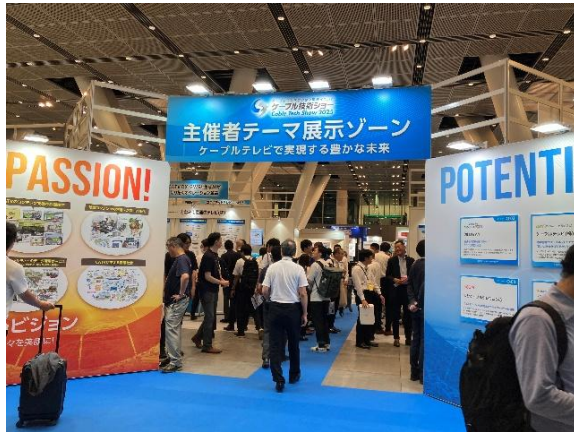
マスプロアンテナブース



DX アンテナブース



日本アンテナブース



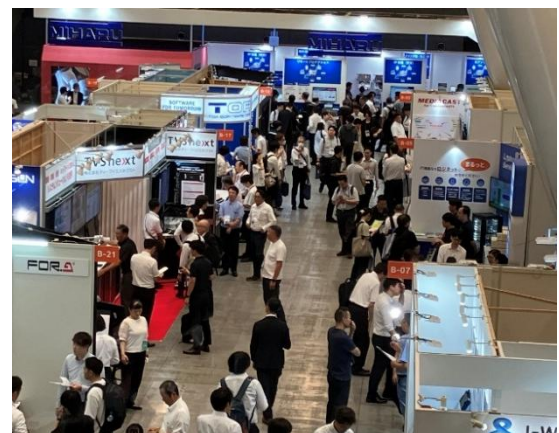
主催者テーマ展示ゾーン



住友電工ブース



会場内の様子



会場内の様子

② 7/25(金) 11:00～12:00 首都圏外郭放水路・地底探検龍Q館視察

近年ゲリラ豪雨や大規模地震等の自然災害が多く発生し、その被害が激甚化している状況を踏まえ、防災・減災に関する展示会が視察先としてふさわしいと考え、昨年度に危機管理産業展を視察したが、その延長として、自然災害を防止するための大規模施設の事例である、首都圏の大雨による水害対策として建設された巨大な放水路を視察した。

＜参加者の感想、印象に残ったこと＞

- ・ 広大な首都圏における浸水被害を年に7回ほど稼働して回避していると知り、重要な施設であると感じた。また、首都圏だけでなく盆地であれば同様の被害も考えられ、近隣であれば愛媛県大洲市など、毎年被害がある場においても同様の施設ができれば今後の生活網も維持しやすくなると思った。
- ・ 今回、自分一人では来ることがなかったであろう場に訪れることができ、良い経験になった。
- ・ 大雨による被害を防ぐためにはこれほどの巨大な施設が必要であるのかを目の当たりにし、自然の恐怖を実感するとともに、大雨を甘く見ず水害が発生する恐れがある時には、躊躇なく非難するなど身を守る行動をとることの重要性を認識した。

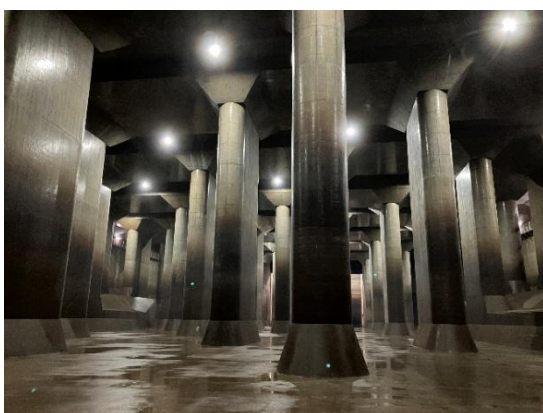
- ・視察前は想像がつかず、あまり興味はなかったが、実際に放水路の中に入ると非常に興奮した。
- ・洪水にあった経験がなく、対策を気にもしていなかったが、これほど大規模な施設をみて洪水の危険性を改めて実感した。
- ・人生経験として非常に勉強になった。
- ・テレビなどで見ていたが、実際に見学でき大変良かった。
- ・水害に立ち向かうための想像を上回る巨大な地下神殿や立坑などの設備を見て、改めて大自然の偉大さを感じた。様々な災害に備える人類の知恵と技術の進化は、今後も長きにわたって続くものと思った。
- ・写真と実物との相違に驚いた。設備の湿度に対する保守は、どのように行われているのか知りたかった。
- ・ニュース等で存在は知っていたが、いざ目の当たりにすると施設の壮大さに驚いた。
- ・施設がどういう目的で設置、運用されているかを知らなかったが、ジオラマなどを用いたわかりやすい説明を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・普段見ることのできない幻想的な人工物をみることができた。



龍Q館玄関ホール



参加者（地下神殿内にて）



地下神殿内（調圧水槽）



地下神殿に隣接する立坑の上部



地元春日部市のヒーロー



バスもしんちゃん

③その他意見他

- ・いつも新たな企画をありがとうございます。毎回、普段では思いつかない施設等の視察はとても有意義であると思う。
- ・今後の視察先について具体的には思いつかないが、最近では予想もしない災害が起こっているの
で、今回のように「災害対策」のための設備や最新技術の動向を見学するのは良いと思う。今後も
協会員の提案なども取り入れて、ためになる研修会の企画をよろしくお願いしたい。
- ・首都圏外郭放水路は都内から距離があったので、もう少しアクセスし易い場所が望ましい。
- ・今回同様に、普段見ることのできない施設訪問をお願いしたい。
- ・初日の集合時間は、12時でも良いのではないかな。
- ・今回初めての参加だったが、メーカーとして客観的に自社を見ることもでき非常に勉強になり、
刺激にもなった。次回以降、若い社員にも参加を促したい。

以 上